

東日本大震災復興支援 第52回男子全日本教員バスケットボール選手権大会 (第70回国民体育大会バスケットボール競技リハール大会)

男子3回戦

主審 生島 匡
副審 吉田 茂央

群馬教員 94

(群馬県) ○

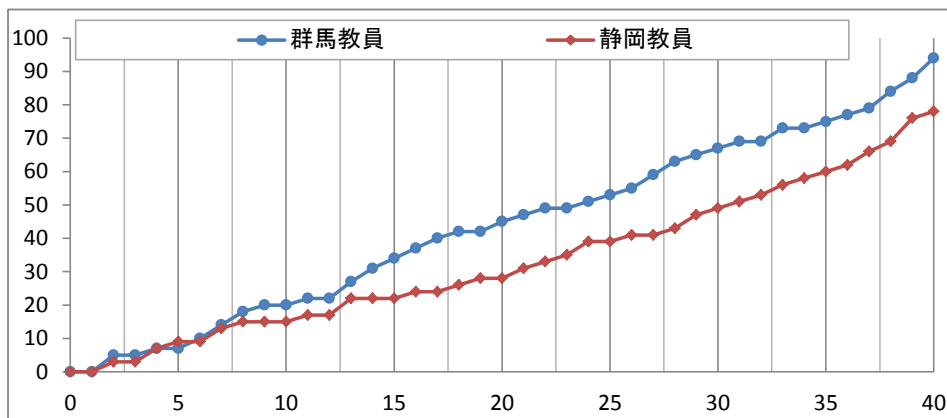
20	—	15
25	—	13
22	—	21
27	—	29
—	—	—

78 静岡教員

● (静岡県)



No. 13D-2 日時: 2014年8月13日(水) 11:40 会場: 和歌山ビッグウェーブDコート



群馬教員

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
1	* 下城 裕斗 (C)	12	2	3	0	1	3	2
7	後藤 紘則	7	1	2	0	1	3	3
9	* 篠原 徹	23	0	7	9	1	6	5
10	* 蛭沼 伸彦	19	4	3	1	3	6	2
12	高橋 翔平	0	0	0	0	0	0	0
13	* 関口 兼弘	2	0	1	0	3	2	3
15	周籐 伸介	-	-	-	-	-	-	-
16	塚越 洋平	0	0	0	0	0	0	0
17	籠島 大佳	6	0	1	4	1	4	4
18	小林 喜弘	-	-	-	-	-	-	-
20	小澤 朋克	-	-	-	-	-	-	-
23	佐藤 圭	13	0	4	5	1	5	0
30	* 帆足 雄祐	11	0	4	3	2	3	1
34	角田 直輝	1	0	0	1	0	1	0
36	小野里 健太	-	-	-	-	-	-	-
コーチ	石川 拓哉							
合計		94	7	25	23	13	33	20

静岡教員

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
1	* 安田 元気	4	0	2	0	3	5	1
5	佐々木 雅隆	-	-	-	-	-	-	-
6	* 山内 慎也	20	0	10	0	5	4	2
7	安田 大佑	-	-	-	-	-	-	-
9	中川 智之	-	-	-	-	-	-	-
12	鈴木 佑介	4	0	2	0	4	0	0
13	田川 誉高	6	0	2	2	2	0	0
17	* 杉本 貴保	15	3	3	0	5	2	2
21	榑原 大輔	-	-	-	-	-	-	-
25	* 本間 光一 (C)	13	1	5	0	2	0	0
55	* 瀬木 淳史	12	2	3	0	0	8	6
59	長田 有樹	0	0	0	0	3	0	0
65	横井 泰人	-	-	-	-	-	-	-
81	長谷川 陽大	-	-	-	-	-	-	-
91	増井 現	4	0	2	0	4	3	5
コーチ	中川 智之							
合計		78	6	29	2	28	22	16

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

2回戦、群馬県対静岡県。両チームともマンツーマンで試合開始。早々に静岡#6の1対1を群馬#9が強烈にブロックし盛り上がるも、直後のプレーで静岡#55が3Pを決める。すぐに群馬#10が3Pを返して流れを落ち着かせた。静岡は#55を中心に攻撃し得点するも、群馬は#9が与えられた6本のフリースローをすべて成功させ流れを引き寄せると、ディフェンスの動きも良くなり、20-15で群馬がリードする。2ピリオド、決め手を欠く静岡に対し、#9を起点に#10の3Pやバスケットカウントで点差を一気に二桁に広げた群馬。勢いそのままに45-28で前半終了。3ピリオド、#51の連続得点で流れをつかんだ静岡は10点差に詰め寄る。ディフェンスも良くなり、群馬は24秒オーバータイム。しかし、ファウルトラブルで静岡#6がベンチに下がると、群馬は#30のバスケットカウントや#23のパスカットからのレイアップで再び差を広げ、67-49で群馬がでリード。4ピリオド、#6が戻った静岡は積極的な攻撃で次々と得点をあげ反撃ムード。しかし群馬は#9を起点にした攻撃で着実に得点し、点差を一桁にさせない。10点差を追い上げたい静岡はオールコートでディフェンスするも、群馬は落ち着いたボール回しで時間が過ぎていく。最後に静岡はファウルゲームに持ち込んだが、冷静にフリースローを決める群馬が94-78で勝利した。

最後まであきらめない気迫のこもった静岡県のプレイに対し、群馬県の高い攻撃力が上まわった試合であった。

記記者	古久保 隆也 (所属) 和歌山県バスケットボール協会
-----	----------------------------